

関西支部 LMAG 第 13 回現地講演会記録

2018/3/26

LMAG 関西 事務局

講演会の概要

テクニクス感性価値創造への挑戦 ～技術と心をつなぐ～

とのテーマで、パナソニック小川理子執行役員によるテクニクスブランド復活の講演会。

詳細は、http://www.ieee-jp.org/section/kansai/activity/meeting_101.html を参照。

日時

2018 年 3 月 26 日(月) 13:30-17:00

場所

松下幸之助歴史館、パナソニック Wonder LAB Osaka

アクセス

https://www.panasonic.com/jp/corporate/wonders/pdf/wlo_map.pdf

京阪電車 西三荘駅 徒歩 2 分

集合場所は、パナソニック Wonder LAB Osaka 前、IEEE の旗が目印。

主催 (Organizer)

IEEE Kansai Section

IEEE Kansai Section Life Members Affinity Group

IEEE Kansai Section Women In Engineering Affinity Group

参加者

25 名

(IEEE 会員 (LMAG 10 名/WIE 3 名/LMAG 事務局 2 名/他 7 名、
非会員 3 名)

講演者、パナソニックの関係者を含まず。

プログラム (Program)

13:20 ラボ館プレゼンテーションルーム集合 (非会員、家族同伴可)、
Wonder LAB Osaka 内のプレゼンテーションルーム

(<https://www.panasonic.com/jp/corporate/wonders/wlo.html>)

13:30 講演会

IEEE 関西支部 LMAG Vice Chair の挨拶に引き続きパナソニック株式会社 執行役員 小川理子様によるご講演

・演題：テクニクス感性価値創造への挑戦

～技術と心をつなぐ～

14:35 Q&A

14:50 小川様を交えて記念撮影

休憩、移動

15:10 パナソニックミュージアム見学

(松下幸之助歴史館、及び、ものづくりイズム館) 見学

見学前に記念撮影

<https://www.panasonic.com/jp/corporate/history/panasonic-museum.html>

<http://news.panasonic.com/jp/topics/158241.html>

講演概要

入社して夢と希望でいっぱいだった音響研究所での20歳代から一転、何度も壁にぶつかり、全く違うキャリアを幾つも経験して2014年に再び音響の世界に戻り、任されたテクニクスブランドの復活。

これまでの点と点が線となり、面となり、この役割は、自分の使命と思えました。演奏者としての自分の個性を、ものづくりの感性価値創造へと結びつける開発プロセスの確立と共に、これを共有し、拡大することは、入社当時の私が目標としつつも、やり遂げられなかったことです。

この挑戦は、非常に困難を極めますが、だからこそ、テクニクスを通じて音楽の感動をお届けできると信じています。

AI やロボティクスの時代が到来した今だからこそ、もう一度人間の可能性や潜在力について考え、その力を発揮できるこの挑戦に向き合いたいと思います。

という内容の講演を、力強くかつ分かりやすく語っていただいた。

Q&A

音楽に関してはうんちくのある方が多く、たくさんの質問があった。

原音とは何か、ヨーロッパの器具の特有の音の話、音楽をよく知っている人がプロジェクトリーダーをされていることへの賞賛意見などがあった。

写真



見学概要

創業 100 周年を記念して今年 3 月 7 日に open したばかりの松下幸之助歴史館ともものづくりイズム館を見学した。歴史館では松下幸之助の経営理念や事業展開がわかりやすく展示されていた。ものづくりイズム館では二股ソケットやラジオから始まり、数多くのなつかしい製品群がところ狭しと展示されていた。参加者一同、物事への取り組み姿勢への思いを新たにしていた。

交流会

講演会終了後、LMAG の進め方や他組織連携の案などを語る交流の場を持った。



以上